

2022 年度（令和 4 年度）事業方針 及び 計画（案）

（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

認定特定非営利活動法人こまちぷらす

I 事業の活動方針

2022 年度は、設立 10 年目という節目の年でもあり、次の 10 年を見据えた一歩となるような取り組みを進めていく。1 つ目に、産前から産後、復帰前から復帰後、といったライフステージの変化があっても孤立することがないよう、より一層情報発信や連携に力をいれていく。具体的には産前産後に情報が届く講座やおしゃべり会の実施に加えて、LINE 等で情報が届く仕組みの実施を検討していく。また、カフェでは保育園との連携を深め、働いている子育て中の方に地域の情報を伝えていく取り組み等を実施する。2 つ目に、昨年度から引き続きどの事業も「参加」の余白を意識して展開をしていく。参加することで仲間ができる、参加することで自分の力を再確認する、子育ても楽しくなる、そんな循環をつくっていく。カフェの外販売やウェルカムベビープロジェクトの背守り縫いや情報部門の情報発信等、日々の業務においても、いかに多くの方と一緒にその場をつくって「子育て中の方と街にいる様々な人との接点」を増やしていけるか、挑戦をしていく。3 つ目に、こまちカフェのような居場所やウェルカムベビープロジェクトのような取り組みが他地域でも立ち上げやすく続けやすくなるような取り組みを進めていく。具体的には、オープンソース化や講座の展開、インターンの受け入れ等を実施していく。これらの実践を支えるためにも、研修や内部の対話、事務局の体制強化を引き続き実践していく。また、2021 年度に取り組んだクレドづくりを、実践と振り返りのステージへと移行していく。

産前から情報が届き、産後はウェルカムベビープロジェクトの出産祝いでもちからの祝福を感じ、こまちカフェに足を運び、親も子どももまちの様々な居場所やお店で魅力的な人たちに出会っていく、そんな流れが日本各地で生まれていくよう、内外の連携を更に強化して「みんなで子育てしている」景色を増やしていく。

<事業内容>

I 子育て情報の提供

1. 地域子育てカレンダー事業

- ・内容：【概要】地域の子育て情報を、地域子育て支援拠点との連携により収集し、ネット上に毎月 100～200 件ほどデータベース化しネット検索できるよう掲載。地域別、テーマ別、キーワード毎に検索ができるようになっている。自宅からなかなか出られない出産直後や転入など、地域情報にたどりつき辛い子育て当事者に向けて、地域の施設が発行しているチラシ情報をネット上で検索できる状態にすることで、孤立の解消につなげることが狙い。拠点運営法人より受託、実施。

【2022 年度取り組み】 2022 年度も、これまで通りチラシを web から閲覧できるように内容を逐次入力することを継続していく。「情報入手」と「情報公開」までのタイムラグを削減する工夫を継続しながらお互いに連携を図れるような工夫をしていく。また、求めている情報がすぐに検索できるよう、検索ワードの入力の工夫、カテゴリ分けの項目の追加など、ユーザーの声や作業を通して気づいたことをチーム内で共有し、改善点の提案を継続していく。ユーザーの声をより具体的に拾うために、ヒアリングシートの作成・配布をしてさらに閲覧しやすくなるような仕組みを検討し、より多くの旬な情報を元にイベントへ足を運んでいただけるようにしたい。同時に、地域こそだてカレンダーに関わっているメンバー 1 人 1 人が無理なく継続して関わられるようにチーム内で相談や意見交換がしやすい環境を整えていくことも大切にする。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区内
- ・従事者人員：7 名
- ・受益対象者：区内外の母子中心に、のべ 15,000 名程度

・支出：122,400 円

2. とつかの子育て応援ルームとことこ 情報スペース運営事業

・内容：【概要】年間約 1 万人以上が来場する、戸塚区役所内にある子育て情報発信及び託児機能をもつ施設において、情報発信スペースの運営を拠点運営法人より受託、実施。1 人の情報コンシェルジュが常駐し、月間 100 件ほどの相談を傾聴、区役所の窓口含め必要な支援や情報に案内している。ベビーカーレンタルや体重計の貸し出し等も実施している。

【2022 年度取り組み】いつでもだれでも気軽に立ち寄れる場所としてのとことこを幅広く認知してもらう為、区の「“伝わる”広報計画」を利用し SNS やサイネージなど複数の媒体を使って周知に努める。閉所日にも情報を届けられるように入口外側のチラシラックを活用して地域マップなどを分かりやすく整備、休日にも情報を提供できるようにする。父親向けの情報発信及び、父親が今求めている事を情報収集しとことこ便りなどを活用し来所が難しい人にもフィードバックできる仕組みを作る。新しいスタッフが多い為、文字だけの情報ではなく、生の声や現場の様子に触れられるよう遊び場や支援場所への見学や研修を実施。また、子育てに関わる制度変更や行政の仕組みについて知識を身に付け共有することに努める。

・日時：通年

・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 16-17

・従事者人員：5 名

・受益対象者：区内外の親子中心に、のべ 10,000 名程度

・支出：2,043,720 円

II. 子育てをしている人、子ども、地域の人が思いを言語化し、つながりをサポートする場づくり

・内容：【概要】日祝日を除く毎日（月曜日～土曜日）戸塚駅から徒歩 7 分のところで「こまちカフェ」という居場所を運営。飲食の提供、雑貨の販売、イベント企画を通して子育て中の母親のリフレッシュや 外出動機の創出、仲間づくりのきっかけづくり、気持ちを言語化できる機会づくり、新たな情報や視点との出会いの場をつくっている。当事者や支援者・企業・行政等様々な主体の人の「ニーズ」や「できること」が集まり、コーディネートしながら活気のある場をつくっている。この部門では主に、飲食の提供を通じた豊かな居場所づくりをしている。

【2022 年度取り組み】衛生と安全に気を付けて日々営業し、安定した品質の食事を提供しながら、子育て当事者に限らず、世代を超えてたくさんの方のリフレッシュの機会と外出動機の創出につとめる。飲食においては、戸塚の野菜や旬の野菜の魅力を伝えられるバリエーション豊富な惣菜販売などにも力を入れられるよう、勤務体制を整える。作った惣菜を保育園に届けることも検討。また、外部出店や日曜マルシェなど、まだこまちカフェを知らない方々に向けて販売やワークショップイベント等を行う。小さなお子さんや学生さんにも、「販売」「作る」等の体験の機会を作り、地域とのつながりを紡いでいくカフェとなるよう努める。また、オンラインショップの充実も引き続き行う。その他、他部門との連携をしながら、カフェの中でたくさんの対話と出番を作っていく。

・日時：通年

・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町

・従事者人員：40 名

・受益対象者：区内外の母子中心に、のべ 9,000 名程度

・支出：13,453,519 円

III. 社会から孤立しがちな当事者・支援する人の学びあい事業

1. 「でこぼこの会」(発達障がいをもつ子どもの親を対象に情報発信・イベント実施)

- ・内容：【概要】毎月1回、お子さんの発達に不安を持つ親、支援者、当事者の方が集まり、お話会と依頼した講師による勉強会を交互に開催。

【2022年度取り組み】2022年度も、お話会と勉強会を交互に開催。勉強会では、毎回人気のある公認心理師による「佐々木正美ノートを使って」や「発達にでこぼこのあるお子さんのための算数の勉強会」、「先輩ママのお話を聞く会」など、引き続き開催する。今年度は新しい勉強会として栄区にあるこども家庭支援センターの社会福祉士の方をお招きして、発達障害のある子の子育て～園や学校、まわりの人達との関わり方について～の勉強会とお父さん向けの勉強会を開催予定。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：3名
- ・受益対象者：区内外の母子中心に、のべ100名程度
- ・支出：115,533円

2. ケアラーズカフェ「えんがわ」(子育てと介護を同時に抱える家庭や親の介護等について関心がある家庭向けの事業)

- ・内容：【概要】子育て世代が直面する親の介護について、必要な情報に出会えることや、自身の思いを話し合える場をつくる。

【2022年度の取り組み】2022年度も「子育ても介護も一人で抱えない」「介護者が自分自身を大切にする」ことを目指して活動する。オンライン開催とこまちカフェでの開催の両方に対応しながら、ダブルケアの方が必要な情報に出会い、思いを話し合い聞きあえるようなきっかけとなるテーマを取り入れながら開催する。また、講演会の実施やSNSの活用により、広くダブルケアについての情報発信をする機会も設けることや、2021年度に作成した当事者の声を可視化したツール(葉っぱ)を活用してのワークショップ等も実施していく。

- ・日時：通年 月1回実施
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：1名
- ・受益対象者：子育て中の親、介護中の方、高齢者、支援者等、のべ60名程度
- ・支出：104,000円

3. 「～不登校・ひきこもりの親ができること～ほっとひと息金曜日」(不登校・ひきこもり学齢期児童の家族向け事業)

- ・内容：【概要】月1回金曜日午後、年2回土曜日夜に、不登校ひきこもり児童・生徒(学齢期)の家族の方がお互いの今の心情を安心して話すことができる場を提供。

【2022年度取り組み】2022年度も引き続きお互いの気持ちを共有し情報を得ることで、自信と元気を取り戻していただく場にする。またSNS発信や「街のとまり木」の活動を通じて家から出られない親子の外出機会をつくる。月一回、夜のカフェイベントスペースを利用し、親子で参加ができ、子どもが安心して自由に過ごせる場所を開催する。ポンテという区内のネットワークの会にも月一回参加し、地域との連携を深めながら実施する。

- ・日時：4月1日、4月15日、5月13日、5月20日、6月11日、6月17日、7月8日、7月15日、8月12日、

8月19日、9月10日、9月16日、10月14日、10月21日、11月11日、11月18日、12月10日、
12月16日、1月13日、1月20日、2月10日、2月17日、3月11日、3月17日

- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：2名
- ・受益対象者：不登校の児童の親、支援者等のべ200名程度
- ・支出：148,140円

IV. 社会とつながりたい人が社会で活躍できる場・貢献の場を見出すためのチャレンジ事業

1. 特技を活かし、地域に貢献を考える子育て中の母親に対するサポート事業

- ・内容:【概要】こまちカフェにて、イベントスペース・カフェスペースの貸出を通して起業支援や情報発信支援を実施。

【2022年度取り組み】 イベントスペース・カフェスペースの貸出を継続して行い、子育て層に限らず、世代を超えて沢山の方に参加できる機会を作っていく。子育てする前の世代や、学生さんが参加できる機会を作ることも力を入れていきたい。また、新型コロナウイルスの影響で開催することができなかったイベントスペースの契約者同士の交流会を実施し、情報の共有をしながらさらなる横のつながりを大切にしていく。また、カフェ全体と連携しながらイベント内容の共有と来店者へのイベントの紹介を行い、多くの子育て世帯や市民の方が居場所に足を運ぶきっかけになるよう努める。また、毎月発行しているイベントカレンダーチラシについても、これまでこまちに足を運んだことのない方にも手に取って頂けるような紙面づくりを心がけ、より多くの方に情報が届くよう配架場所・方法にも配慮したい。また、ご契約者さまとスタッフでも管理しやすいよう、取り返し詳細書等のペーパーレス化もすすめる。その他、新たなスペース貸しとして駐車場一階の珈琲スタンドも商店会や地域の方にも利用していただき、様々な交流が生まれるような場を作っていく。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：5名
- ・受益対象者：起業、教室開催を考えている方及び一般市民等、のべ830名程度（オンライン参加者を除く）
- ・支出：1,011,961円

2. 子育て中の母が特技を活かし生きがい及び仲間づくりのために作成した飲食物・手づくり品の販売

- ・内容:【概要】こまちカフェ内スペースにて、子育て中の方を中心とした市民がつくった手づくり雑貨を販売。地域の方の外出動機の創出につながり、また、子育て中の方々の得意が活きる場づくりにもつながっている。0か1ではない働き方（自宅にいながら働ける一つのスタイル）の提案の場にもなっている。

【2022年度取り組み】引き続き、年間を通してこまちカフェでの手づくり雑貨展示販売を行い、近隣の方のみならず、遠方の方にとっても、特技を活かせる場となるよう努める。店舗販売、オンラインショップに加え、外販売も積極的に行っていく。また、SNSやYouTube等のライブで配信しリアルタイムでお客さんや作家さんとの交流を行い、手作りの作品をたくさんの方に手に取っていただけるようにする。「テーマ」を持たせ、手づくり雑貨展示即売会を年4回開催。他地域での贈り物展巡回展なども積極的に行っていく。手づくり作家同士の交流会や外部出店なども引き続き行い、活気ある事業としていきたい。その他、有限会社 heart.com からの依頼で2022年度に出産予定の戸塚区のご家庭へ送るウェルカムベビープロジェクトの出産祝いのプレゼント「ガーゼはんかち」作りに有志の haco+作家と取り組んでいく。

- ・日時：通年

- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：3名
- ・受益対象者：手づくり小物を地域でつくる方及び一般市民等、のべ 1,500 名程度
- ・支出：866,691 円

V. 地域の多様な主体が互いに連携・協働し、コミュニティの活性化を推進するためのコーディネート事業

1. ウェルカムベビープロジェクト

- ・内容：【概要】「まち全体で赤ちゃんの誕生をお祝いし子育てを応援する社会」を目指し、出産祝いを地域の人々や企業商店とつくり、届ける事業を実施。2016年にヤマト運輸株式会社神奈川主管支店との協働で立ち上げ、2018年からは横浜市鶴見区、2020年からは千葉県松戸市でも活動が始まり、2022年度には茅ヶ崎市でも開始予定。横浜市こども青少年局後援事業。出産祝いの内容は選考会にて4人の選考委員により認定されたものが入っており、申し込みがある世帯へ無料で配布している。このプロジェクトの資金はすべて民間財源（協賛金や寄付、自主事業収入）でまかなわれており、行政と連携し実施している。住民や企業商店等様々な人が子育てに関わるきっかけとなるよう設計し、その関わりと連携により新たな社会インフラ（子育てが豊かになっていくようなコト・モノ・サービス・制度）を生み出していくことも目指している。一例として、このプロジェクトからおむつ自動販売機が開発され、産院とのプレママ・プレパパ教室の開催が生まれている。

【2022年度取り組み】

[戸塚支部]

○出産祝い部門

妊娠中の方への周知により力を入れながら、出産祝いのお届け後にも、必要とされる方々に子育てについての情報を届け続けられるよう、メールの配信等のあり方を検討する。また、出産祝いを受け取られた方の声を丁寧に拾う機会を対面、SNS,アンケート等様々な方法で取り入れ、パートナー各社とも共有をしながら出産祝いのお届けを継続する。

○産前部門

イベントへの参加の有無に関わらず、妊娠中の方々が必要な情報に出会える機会のひとつとして、LINEの立ち上げを検討する他、イベントの開催においては参加者同士がより横のつながりを得られるよう、開催方法と内容を見直して実施。

○産後部門

区内の他機関でもオンラインイベントの実施が増えてきた現状等を受けて、おしゃべり会のあり方を再検討。一方で、行政の母親教室ではカバーしきれない第二子以降を出産された方も参加できるような機会を、カフェという場も活用しながら新たに企画し、産後の母親が気軽に足を運び、ゆるやかにつながれる機会を作る。

○タウンポーター/ナッピーデー

登録店舗からのフィードバックをもらいながら、認知度を高められるよう引き続き周知に力を入れていくと共に、既存、新規双方の登録店舗との関係性構築に努める。

[本部]

○支部展開

引き続き、鶴見支部、松戸支部への伴走を実施しながら、茅ヶ崎支部での出産祝いのお届け開始に向けてバックアップに力を入れ、支部間の交流や情報交換の機会も進めていく。

○パートナー企業・団体との協働

2021年度に引き続き、プロジェクトを応援いただくご協賛のみならず、様々な形で多様な業種の方々にとって「ウェルカムベビーなまち」を目指すことが身近になるよう、連携を進めていく。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市を中心に、全国
- ・従事者人員：9名
- ・受益対象者：戸塚区・鶴見区で生まれた赤ちゃんのご家庭の方、700名程度
企業、一般市民などおよそのべ 700名、計のべ 1400名程度
- ・支出：4,467,668円

2. つながりデザインプロジェクト

- ・内容：**【概要】** カフェの場からまちの担い手が生まれる取り組み。居場所におけるコーディネーターの育成、活気のあるボランティア活動を通じた参加と対話の機会をつくる。
【2022年度の取り組み】 「こまちパートナー登録説明会」をはじめ、カフェ事業、他事業と連携しながらカフェ内外での活動を一緒に作ることを通じて、子育て中の方が地域とつながる機会をつくっていく。2021年度の課題として、登録後のその方にとってのやってみたいことや得意を軸とした活動や、軽作業へのおさそいなど仕切れなかった。2022年度は「教えてパートナーさんの会」をオンラインで随時開催し、その方ならではの視点や経験、アイデアを頂き一緒に活動を作っていく。また、パートナー同士の交流や学びあう「ぶらす交流会(半年間全6回)」では、外部講師や商店会を中心としたまちの方や、様々な居場所やそこで活躍する人との接点やつながりの機会をパートナーの方々と一緒に考える。
- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：3名
- ・受益対象者：乳幼児や学齢期の子どもを育てる親、100名程度
- ・支出：806,876円

3. 戸塚宿ほのぼの商和会事務局

- ・内容：**【概要】** 約90名の会員がいる戸塚の商店会の事務局をつとめる。「こども・高齢者・障がいをもった人も誇りと居場所と出番を感じられる地域」を商店会としてビジョンを持ち、こまちぶらすとしてもその事務局機能を担いながら商店と子育てしやすい環境について考え提案をしていく。
【2022年度の取り組み】 定例会や地域ごとのゆるやかな班活動を行う。今年度は、会員同士だけでなく地域住人をはじめ、他の商店会と連携しながらインスタグラムやYouTubeなどSNSにて情報発信を行う。また、こまちぶらす内での他事業との連携しながら子育て中の親子がまちを知り、お店とつながる機会を持つていく。
- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区
- ・従事者人員：3名
- ・受益対象者：90名
- ・支出：899,627円

VI. 孤立しない社会をつくるためのまちづくり・啓発・提言事業

1. 講演やコラム発信等、起業への働きかけを実施

- ・内容：【概要】講演や研修、調査協力、機関誌寄稿等を通じた提言啓発を実施。

【2022年度の取り組み】行政関係者、中間支援、市民団体の方、企業、学生等向けにこまちぷらすの活動やカフェでの実践等について話し、ビジョンの普及啓発に努める。2021年度に引き続き、「カフェ型居場所の展開」として、他地域や他団体に向けたこまちカフェの運営についての実務講座をみてね基金の助成も活用しながら実施。さらに実践を学ぶ機会として、こまちカフェでのインターンの受け入れや実際の立ち上げのサポートにも取りくんでいく。2022年度より、日本財団助成を活用して「社会的孤立を防ぐ『地域コミュニティ構築人材』の育成と展開」を行う。また、引き続きコロナ禍において対面活動の難しさから寄せられるLINEやzoom講座の依頼に引き続き対応していく。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区
- ・従事者人員：5名
- ・受益対象者：300名
- ・支出：9,438,566円